

発行：新穂行政サービスセンター
お問合せ先：新穂行政サービスセンター
電話0259-22-3111
(担当：土屋(一)、川上、土屋(嘉))

大勢の参加ありがとうございました！

第1回新穂地域づくり懇談会を開催しました!!!



佐渡市新穂地区では「住民主体の地域づくり」を推進していくのにあたり、各地区集落長、社会福祉協議会、各種団体及び一般住民からの公募によって総勢32名からなる懇談会を構成、うち27名の参加をいただき、去る10月13日(木)午後7時から「第1回新穂地域づくり懇談会」を開催し「新穂地区をどのような地域にしたいか」をテーマにワークショップ形式で意見を聴取しました。日頃感じていることを各々カードに記入し、その後カードを集約しまとめたものをグループごとに発表していただきました。



本号ではワークショップの様子や意見のまとめ、参加者の声をお知らせします。

意見のまとめ

各グループから74件の意見をいただき、それらを見出し別に分類したものの一部を掲載します。新穂地域づくりは「何のために行うのか」という根本的な目的(理念)を設定するための材料として貴重なご意見をたくさん頂戴しました。

とにかく元気なまちにしたい

- ・夏祭り、夕映え市を維持していけるまち
- ・空き家を有効に活用できるまち
- ・若者が集まって来るまち ・店が多いまち
- ・集落活動が活発なまち
- ・明るく元気なまち
- ・高齢者の健康づくり、介護が充実しているまち
- ・人が歩いている姿が見えるまち

子どもたちが活発に育つまちにしたい

- ・新穂らしい教育が充実しているまち
- ・子どもの遊び場が充実しているまち
- ・安心して出産、子育てができるまち
- ・三世代が一緒に暮らせるまち
- ・子どもたちの行動を見守れるまち
- ・子どもがたくさんいて元気に走り廻っているまち

自然環境が豊かなまちにしたい

- ・新穂の自然を活かしたまち
- ・公園が整備されているまち
- ・「トキ」を中心とした自然保護されたまち
- ・自然(竹・木)と触れ合えるまち

安心安全なまちにしたい

- ・子どもが外で元気に遊べるまち
- ・交通事故が少ないまち
- ・安心して暮らせるまち
- ・お年寄りも便利に買い物ができるまち

観光でにぎわうまちにしたい

- ・「トキ」を中心とした観光事業に積極的なまち
- ・観光設備が整備されたまち
- ・観光マップがあり、それを活かしたまち
- ・新穂ダムを有効活用したまち
- ・新穂銀山が活性化されるまち

伝統文化を大切にすまちにしたい

- ・伝統文化を継承できるまち
- ・芸能(鬼太鼓、のろま人形、能)を維持できるまち
- ・神社仏閣や祭礼を継承、保存していけるまち
- ・文化的、芸術的活動が盛んなまち

会話が飛び交い、助け合い精神があるまちにしたい

- ・各世代間の「ふれあい」が厚いまち
- ・人々が助け合えるまち
- ・子供やお年寄りを地域が関心を持って見守るまち
- ・班・区域等の枠を越えて共同連携できるまち
- ・声が飛び交うまち

活き活きと働けるまちにしたい

- ・魅力的な働き口が多いまち
- ・働き口、居住環境が整備されたまち
- ・一次産業、二次産業で働けるまち
- ・商店街が働き口となるまち
- ・高齢者の人材が活用されるまち



参加者の声

2時間の長丁場でしたが、非常に有意義な意見交換でした。参加者の感想です。

- ◎ある程度地域づくりがしっかりしている現状もあることから、日頃地域づくりについて個人的に意識することはなかった。良い経験をさせてもらった。
- ◎難しく考えていたので、なかなか進まなかったが、取り組んでみると楽しかった。
- ◎様々な世代・業種の人が集まり、意見交換できたことは大変意義がある。次回以降も楽しみにしている。

懇談会で地域づくりを一緒に考えてみませんか？

◎開催日時

第3回 28年11月10日(木) 19:00～ 「地域の将来像等について」

第4回 28年11月24日(木) 19:00～ 「将来像を実現するための具体策について」

第5回 28年12月15日(木) 19:00～ 「地域づくり組織の創設について」

◎参加対象者：新穂地区にお住まいの方 あるいは 新穂地区でお仕事をされている方

◎会場：新穂行政サービスセンター 2階 学習室

参加されたい方、ご興味をお持ちになられた方は、新穂

